



2021年5月14日

各位

会社名：株式会社省電舎ホールディングス  
代表者名：代表取締役社長 橋口 忠夫  
(コード番号：1711 東証第二部)  
問い合わせ先：取締役管理本部長 大浦 隆文  
(Tel:03-6821-0004)

2021年3月期通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2021年2月9日に公表いたしました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想値と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。また、2021年3月期第4四半期において特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

1. 2021年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 820	百万円 △300	百万円 △320	百万円 △340	円 銭 △63.94
実績値(B)	844	△252	△272	△348	△65.45
増減額(B-A)	24	48	48	△8	-
増減率(%)	2.9	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	2,273	△167	△171	△359	△85.58

2. 業績予想値と実績値との差異の理由

当社は、入手可能な情報に基づき、2021年2月9日に、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しましたが、この時点で新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴い、延期が予想されていた案件の中から、当期中に計上された案件が生じ、売上高が24百万円増加致しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から営業活動の抑制や全社的な販管費削減への取り組みにより、営業利益、経常利益共に増加をいたしました。

また、下記記載のとおり、現在進行中の案件の中で、進捗の遅延によって損失が発生する可能性のある案件について、偶発損失引当金繰入額73百万円を特別損失に計上し、親会



社株主に帰属する当期純損失は 348 百万円となりました。

### 3. 特別損失の計上について

本日開催の取締役会で、新型コロナウイルス感染拡大等の要因によって、事業進捗の遅延に関連して、当社連結子会社において発生することが見込まれる偶発債務について合理的に見積もり、検討した結果、特別損失に 73 百万円の偶発損失引当金繰入額を計上することを決議しましたので、2021 年 3 月期通期業績において、これを計上いたします。

以 上